

【実践報告③】 孤立する親子 (8050世帯) への支援

千葉市中央区
障害者基幹相談
支援センター



令和5年度

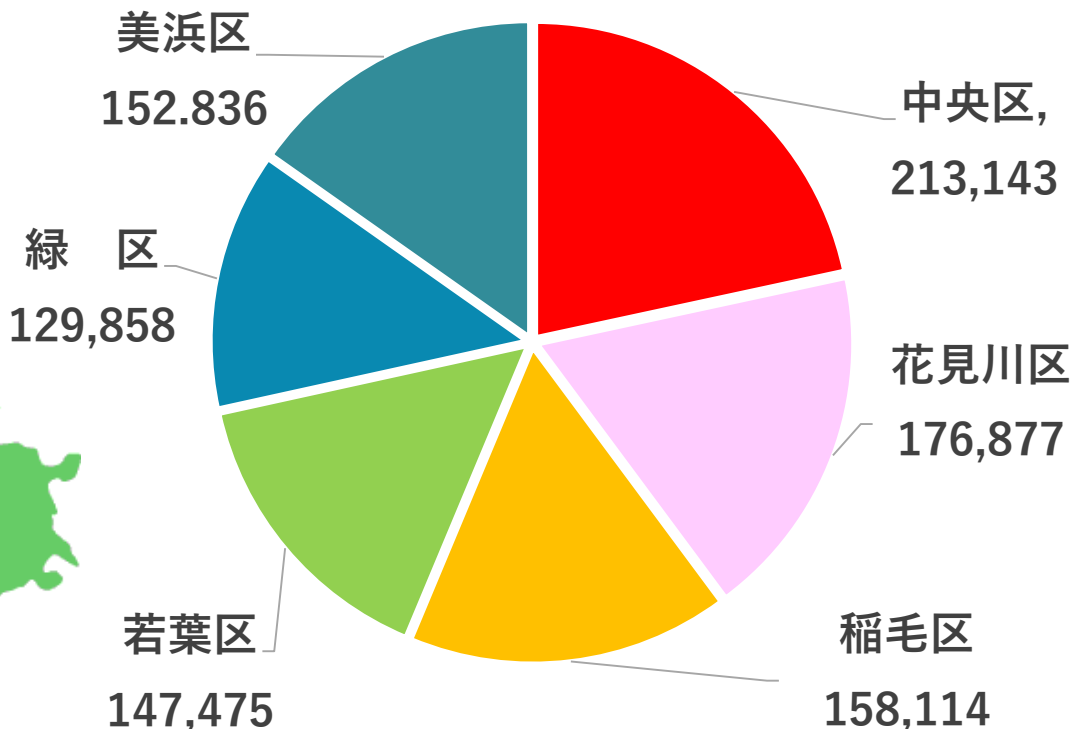
千葉市中央区障害者基幹相談支援センター
管理者 伊藤佳世子

千葉県千葉市中央区

令和5年6月30日現在

中央区人口：21万3143人

千葉市人口 97万9281人



(1) 一般的・総合的・専門的な相談支援

ワントストップの相談窓口として、様々な障害の種別や各種のニーズに対応できる相談支援を実施します。

(2) 地域の相談支援体制の強化の取組

個別のケース対応について所管区内の相談支援事業所からの相談に応じ、専門的な指導、助言を行うほか、支援が困難なケースに対しては協働して支援にあたります。定期的に事例検討会や研修会を開催し、地域の相談員の人材育成の支援を行います。児童や高齢など障害福祉分野以外の支援者の皆さんとの連携強化にも取組みます。

(3) 地域移行・地域定着の促進の取組

病院や施設などで長年暮らしている方たちがグループホームや一人暮らし、家族との生活を始めることを支援します。また、その方たちの生活が安定して継続できるように支援します。

(4) 地域自立支援協議会の運営

障害者が住みなれた地域でその人らしく暮らしていけるような体制作りのための定期的な協議の場である地域自立支援協議会の運営を行います。

(5) 権利擁護・虐待の防止

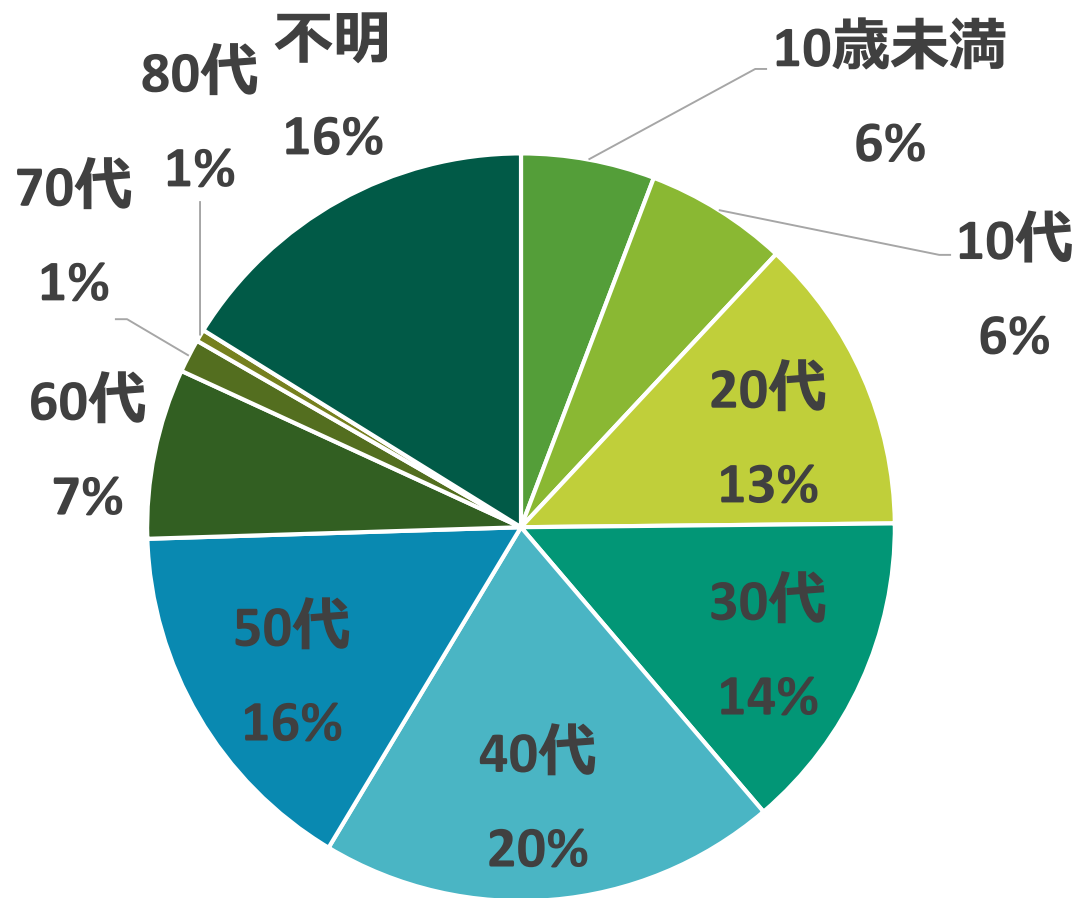
成年後見制度の利用支援や障害があるご本人の意思決定支援などを行います。また、虐待に至らないように、必要な福祉サービスの導入やご家族への支援を行います。

(6) 障害者相談支援に関する各種情報の収集、集約、発信

地域の相談員が業務に活用できるよう地域における様々な支援機関の情報の収集、集約、発信を行います。

千葉市中央区基幹相談 相談内容の分析 (令和4年度)

2022年度相談者の実人数は739人
LINE相談は登録者が167人



令和4年度支援方法、内容、時間帯

(支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援 会議	関係機関	その他	計
件数	1,217	243	409	3,327	184	228	201	0	5,809

(支援内容)

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	933	1,965	1,496	136	215	1,478	719	782	258
(再掲) ピアカウンセラー	11	26	19	7	8	19	10	26	8

	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
件数	226	212	514	8,934
(再掲) ピアカウンセラー	5	1	1	141

(支援開始時間帯)

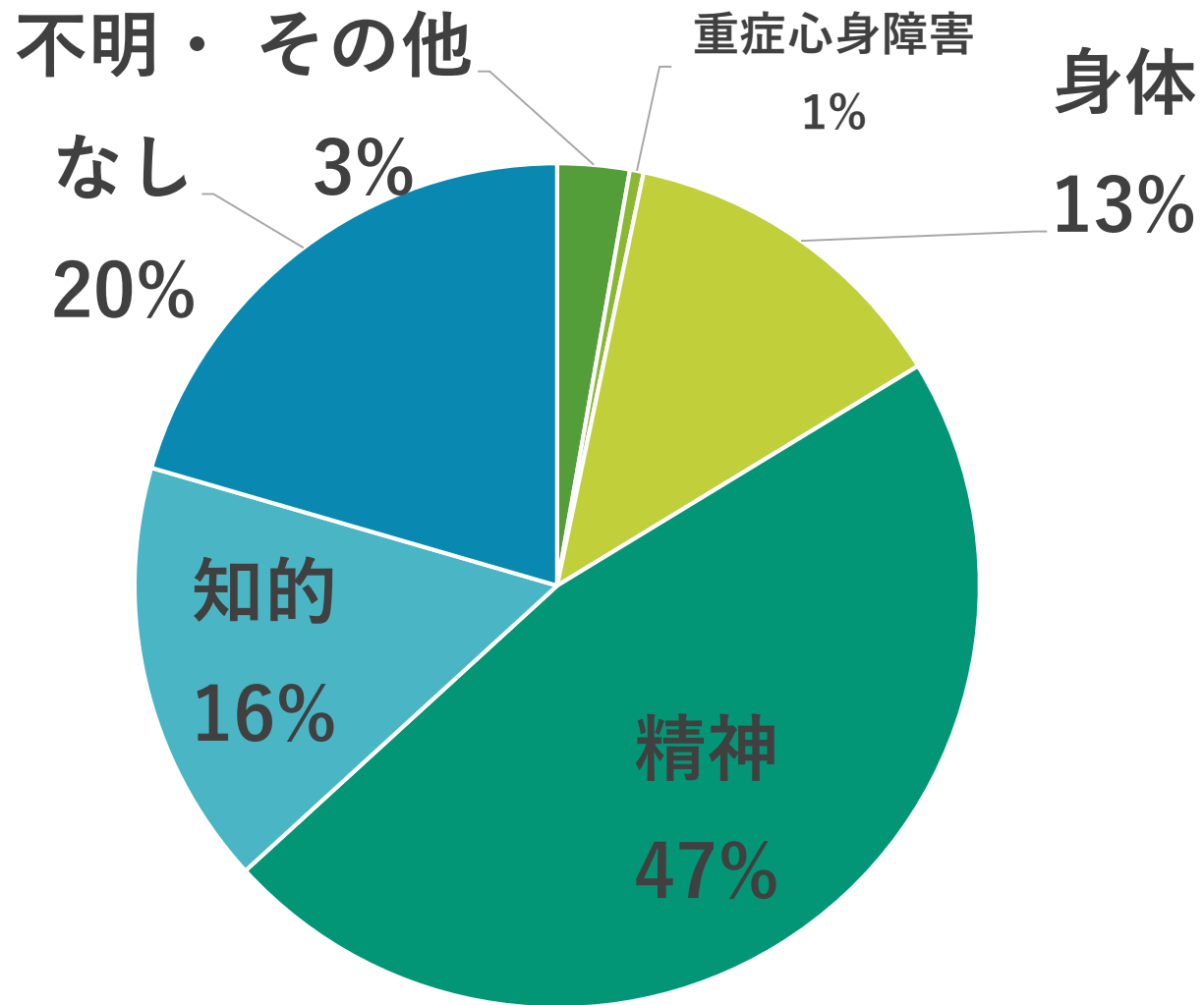
	9～13時	13～17時	17～21時	21～1時	1～5時	5～9時
開所日(月～土)	2,637	2,388	528	10	7	108
閉所日(日祝)	60	51	13	1	2	4
計	2,697	2,439	541	11	9	112

開所時間内	5,025	※開所日の9～17時
開所時間外	784	※上記以外の時間帯
計	5,809	

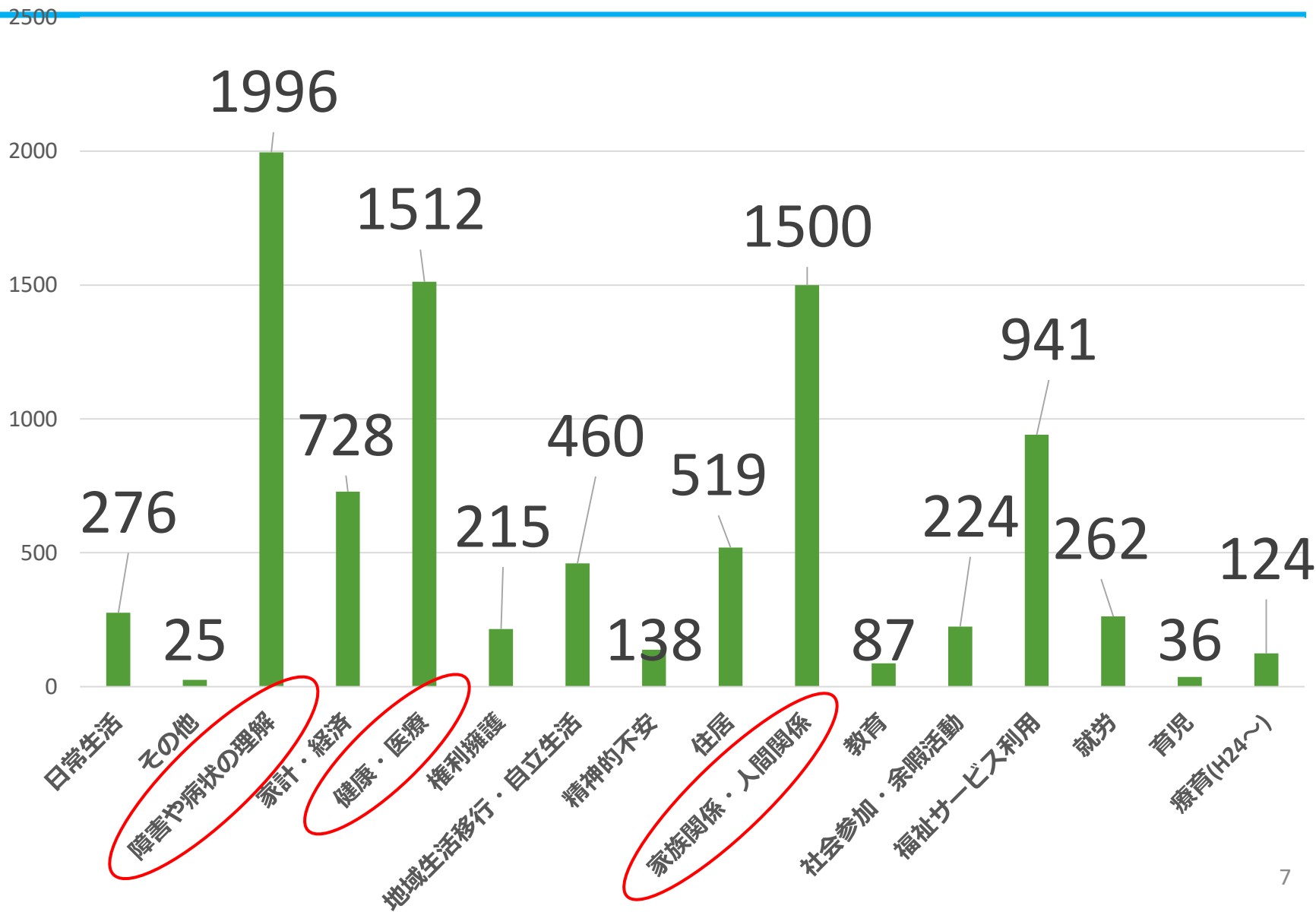
■ SNS相談 公式LINE
登録数 167名

■ 緊急時支援
緊急一時支援の件数
29名、 31件
緊急時の宿泊を伴う支援
19名

障害種別は精神障害の方が圧倒的に多い 一方、不明の方が2割



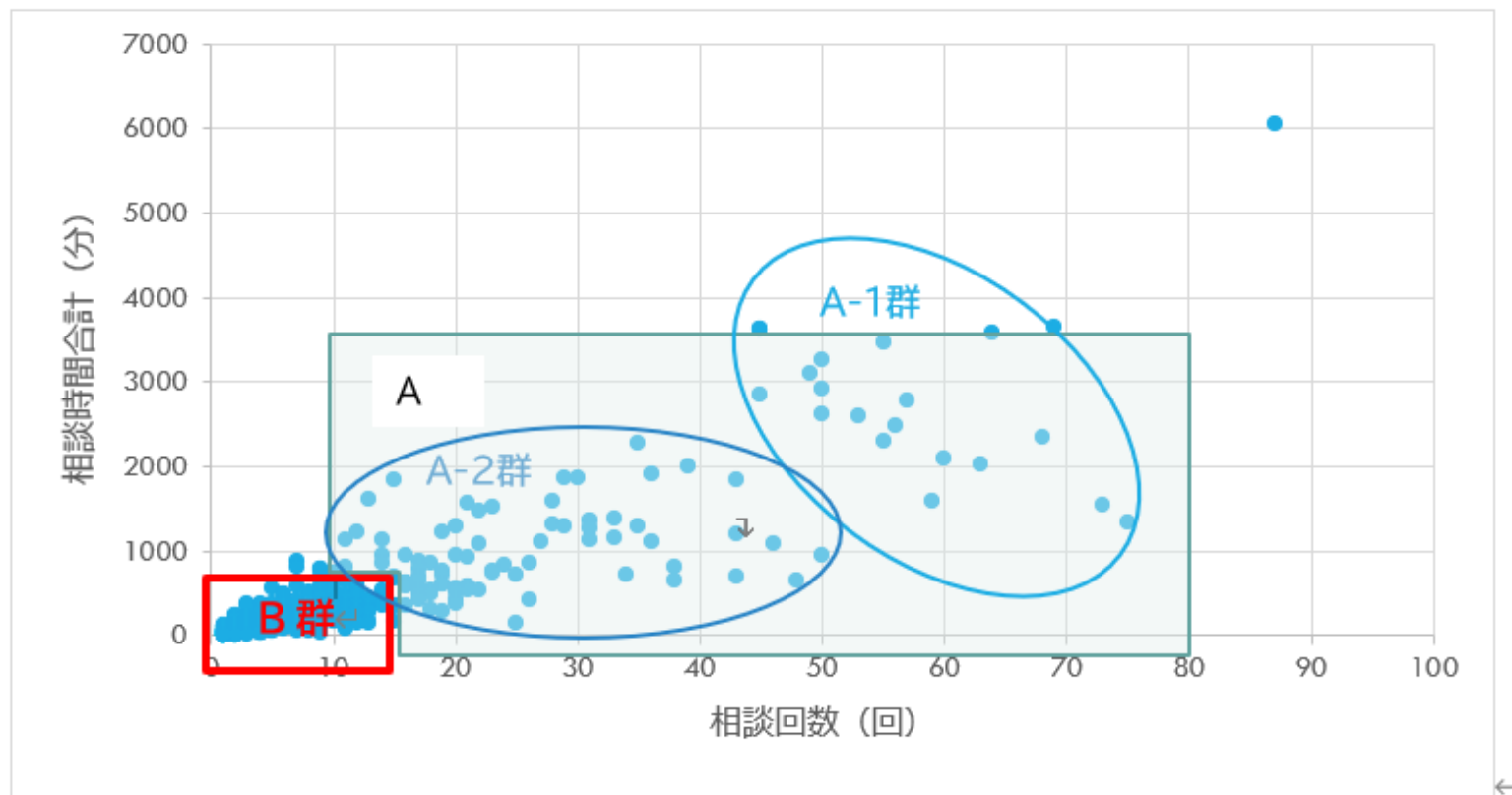
相談項目



■ 頻回・長時間相談者の分析

総相談者の約半分が1~3回の相談で終了しているのに対し、延べ相談時間の約半分は相談時間の長い上位60人で占められている。

このことから、相談時間の長い相談者、相談回数の多い相談者の傾向について分析した。



ばらつき具合から、762人のうち、6000分を超える例外を除く1名を除外し、

761人について15回以上または1000分を超える相談者(A群 N=103)とそれ以外(B群 N=658)で比較を行った。

B群、A群の方たちの傾向

相談項目数の平均 A群の方が多い。相談時間・頻度の高い人は、複数の課題を抱えている方が多い。

- A群平均 4.9項目 (A-1群 6項目、A-2群 4.6項目)
- B群平均 2.1項目

★相談項目は2つ前のスライドを参照

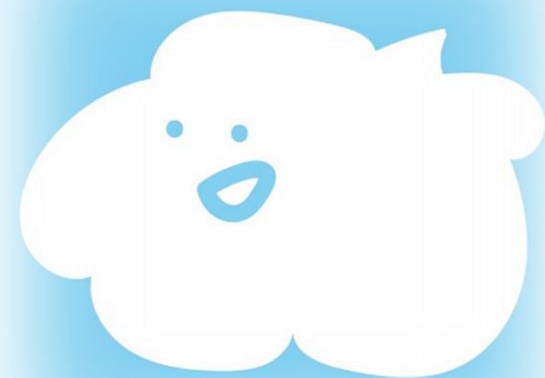
A群から特に8050・未治療・再犯防止・医療観察に該当する相談者の相談項目を抽出

	8050	未治療	医療観察	再犯防止
該当人数	12	10	3	2
平均年齢	43	43.3	39	53.5
平均総相談時間	1595分	1891分	1906分	1170分
平均1回あたり相談時間	50分	54.5分	90分	90分
平均相談項目数	5.5	5.4	5	3.5

- 8050に該当する方は、全員が「障害や病状の理解」に該当している。また、「健康医療」、「家族関係・人間関係」なども該当者が多い。
- 「未治療」に該当する方は、全員が「障害や病状の理解」、「家族関係・人間関係」が該当している。
- 医療観察に該当する方は、「障害や病状の理解」、「家族関係・人間関係」に該当する。また「日常生活」、「家計経済」、「住居の支援」が必要なことがわかる。
- 再犯防止の方は「健康・医療」に該当する方が多い。

【事例】

孤立する親子（8050世帯）への支援



【事例】 認知症の母（80代）と引きこもりの息子（50代）

ケアマネジャーから地域包括支援センターへの相談「同居の息子がいることで本人の支援に悩んでいる」



80代の母親（C氏、認知症）と50代の引きこもっている息子（D氏）の二人暮らし。Cの遺族年金で暮らしている。

お金の管理はDが行っているが電気が止まってしまうことがある。



地域包括



Cさん

臭い、臭い！

うるせえ！同じことを何度も聞いてくるんじゃないわ！



Dさん

いい！大丈夫だから来なくていい！



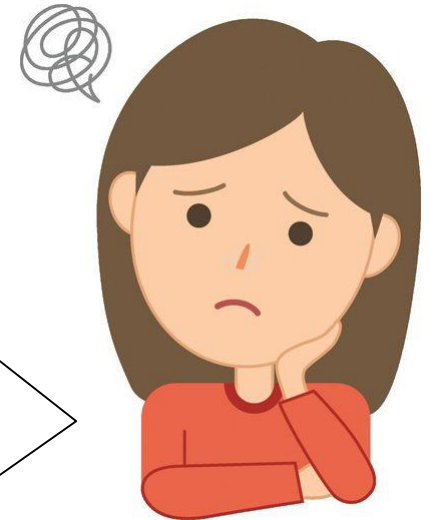
民生委員



地域包括

80側の支援者（地域包括支援センター）の思い

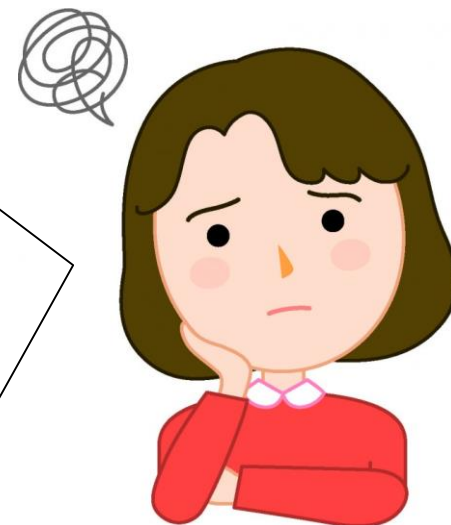
- 母に必要なサービスや制度を導入したいが、息子のことを気にかけている母の思いを思うと、無理にサービスを入れられない。
- 息子から母に対する言動や行動は虐待に繋がるおそれがあるから、注意してみても行かないといけないなあ。
- 母の生活やこれからの、母と息子一家の生活が心配。息子が母を支えきれぬのだろうか。
- 電気が止まってしまうほど金銭管理ができていない、夏に熱中症になる前に何とかなくては。
- 息子の支援者、早く動いてよ！



地域包括

50側の支援者（基幹相談支援センター）の思い

- 息子に金銭管理の支援の話をいきなりしようとしても同意しないだろう。
- 息子がなぜ引きこもりになったのか、なぜ怒鳴っているのか、将来どうしたいのか、不安感や困り感等、アセスメントしないと・・・。
- 場合によっては医療へつなぐ必要があるかも。
- とにかくまず息子と話せる関係づくりをするところから始めたい。
- 高齢者の支援者からは動きが遅いといわれるけど、急な介入をしては関係を壊してしまうし・・・。



基幹相談

生活困窮者自立支援相談への連絡

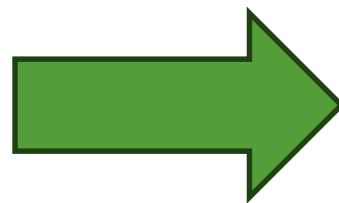
- 現在も時々ライフラインが止まるほど、金銭管理ができていない。
- 将来的なことも考えて、生活困窮者自立支援相談の相談員へ連絡。



地域包括



基幹相談



生活困窮

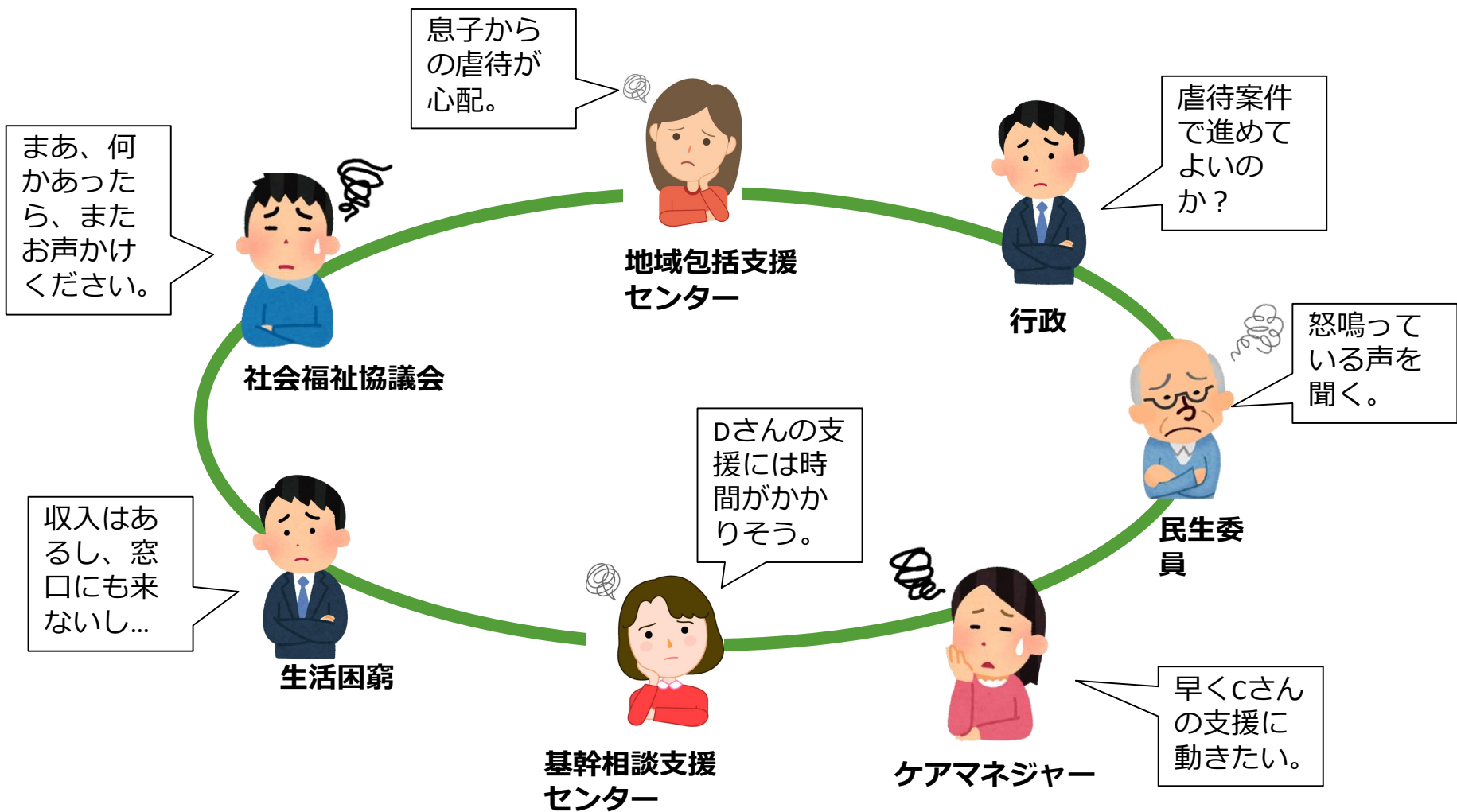
生活困窮者自立支援相談員の思い

- 現時点で収入で困っているわけでもないし・・・。
- 本人も支援拒否していて窓口に来ているわけでもない。
- 引きこもりで働けていないから、将来的には困るだろうね。
- でも、窓口の相談に来ない人にまで、こちらからアプローチするのも・・・。



生活困窮

関係者でチームを作ってもうまく連携できないことも

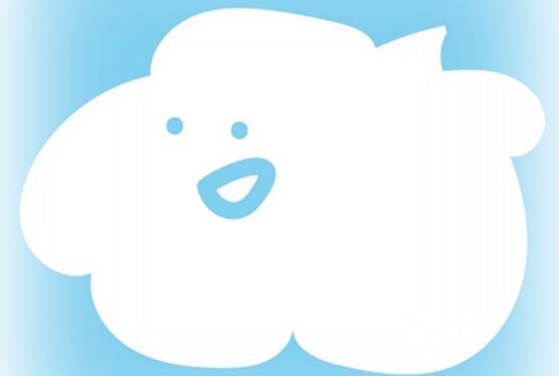


チームで意識合わせ



- 母親の支援の立場と息子の支援の立場、双方の立場を理解する必要がある。
- 将来に不安を持っているDさんに共感。
- 高齢者支援、障害者（疑い含む）支援を含めた関係者の共通認識を持つことの重要性の理解。
- 誰が関わっても同じスタンスで支援できるチーム支援の重要性の理解。
- ゴールは、どんなにぶつかっても話し合えるチームを関係者で構築し、それが「地域づくり」につながること。
- 予防的支援を含めて、関係者で意識合わせ。
- それぞれが、それぞれできる支援を進めていく。

千葉市中央区80・50問題を考える会発足



中央区8050を考える会

2021年より関係者がより深く連携し、チームとして活動できるよう「千葉市中央区80・50問題を考える会」をつくりました。目的は以下2つ。

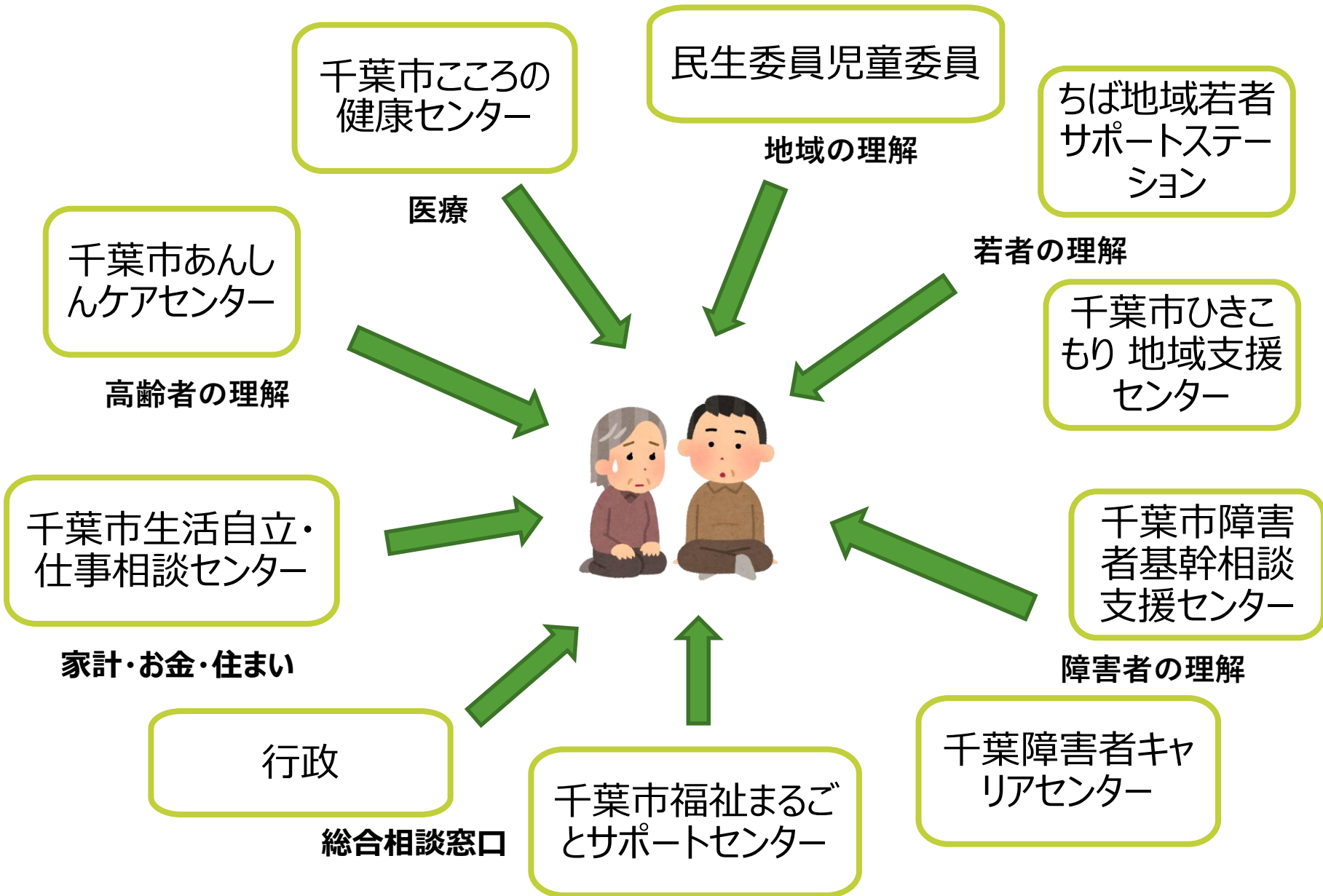
目的1) 困りごとを相談できる地域づくり

- ①市民向け講演会
- ②啓発チラシづくり

目的2) 問題解決のできる地域の支援体制づくり

- ①支援者向け勉強会
- ②毎月の事例検討会

関係者はそれぞれの専門家であり、視点が多様



事例検討を重ねる

それぞれの専門家の見立てをすり合わせる。

自分と立場の違う専門家の気持ちが理解できる。

アプローチの仕方を皆で考える。

そこから、役割分担をおこなうようにする。



啓発活動を共に行う

啓発活動の内容を決めることと自体がチームづくりになっている。

特にチラシの文言など、どんな言葉で伝えるかを吟味している。

どこに相談に来ても同じ気持ちで対応できるようにしたいという思いで作成をしている。



啓発チラシ 表面

こんなご相談を受けています



子どもが仕事をやめてから、もう何年も外に出ていない。これからのことを話したいけど、ほとんど話ができないし、なんとか説得しようとするが怒ってしまう。こんなこと誰かに話せないし、どうしたらいいのか・・・

息子がもう長く家にいる。自分ももう90歳で自分のことをやるのがしんどいが、息子が家に人を入れるのを嫌がるので、ヘルパーさんを入れるのを断っている。自分が100歳まで生きられない・・・



学生時代からバイトはいつも長続きしなかった。子供の頃から集団生活が苦手で周りに合わせられなかった。なんとか新卒で就職した会社は雰囲気も良かったが、同時進行の仕事がこなせず、悩んでいるうちに遅れなくなり、体調も悪化し、退職した。自分にあった仕事を見つけない。



数年前から、母の介護が必要になり、悩んだ自分が仕事を辞めることにした。母の年金と自分の貯蓄でなんとかやってきたが、そろそろ貯金も底をつきそう。一段落したらまた仕事をしようと考えていたが、長く社会から離れてしまい、どんどん自信がなくなりました。介護のことや、生活のことを相談したい。



このような困りごとがあったら、裏の相談窓口にご相談しましょう！

SOSが出せなくなる前に！ 社会的孤立を防ぐ チェックリスト



チェックが入ったら要注意！

<input type="checkbox"/> 長い期間、社会とのつながりや役割がない家族がいる	→ ③⑥
<input type="checkbox"/> まわりの人とのコミュニケーションがうまくいかず、外に出るのがつらい	→ ②③⑥
<input type="checkbox"/> 借金があり、生活が苦しく、つらい	→ ①
<input type="checkbox"/> 家賃が払えない	→ ①
<input type="checkbox"/> 困ったときに相談できたり、手伝いなどを頼める人がいない	→ ②⑤
<input type="checkbox"/> 家の中がごみや物であふれている、片づけられない	→ ②⑤
<input type="checkbox"/> 仕事が続き、将来が心配	→ ①④

こんなことで困っている方は、
裏面の相談窓口 → ①～⑥ に
相談できます！

こんな心配ありませんか？



ちょっと誰かに話してみようかな、と思ったら、裏面の目に飛び込んできた番号に まずはお電話を

秘密は守ります

はちまる こまる
千葉市中央区 80・50 を考える会
中央区地域活性化支援事業

啓発チラシ 裏面 2022年バージョン

仕事・お金

① 千葉市 生活自立・仕事相談センター

「仕事が長続きしない」「仕事に就く自信がない」「生活で悩みがあるが、どうしたら良いかわからない」など、生活に困りごとや不安を抱えている方の相談をお受けします。

☎ 中央 043 - 202 - 5563

月曜日～日曜日
(祝・休日および年末年始除く)

8:30～17:30

必要に応じて、中央区以外のお近くのセンターをご案内します。

困ったら、まずはここ

② 千葉市 障害者基幹相談支援センター

障害についてのワンストップの総合相談窓口です。生活の困りごと、障害福祉の制度のこと等幅広く相談をお受けします。障害があっても、なくても相談をお受けします。

☎ 中央区 043 - 445 - 7733

月曜日～土曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

緊急の電話は、24時間、365日対応。必要に応じて、中央区以外のお近くのセンターをご案内します。

ひきこもり

③ 千葉市 ひきこもり地域支援センター

「ひとりですっと悩んでいる」「家から出ることができない」などのお悩みのあるご本人、ご家族等の相談窓口です。

☎ 043 - 204 - 1606

月曜日～金曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

わたしたちが チームでお手伝いします

障害のある方の仕事

④ 障害者就業・生活支援センター 千葉障害者キャリアセンター

働きたい障害のある方、障害が疑われる方のご家族や関係者の方からの相談をお受けします。各機関との連携による準備訓練等の提案、就職活動の支援（ハローワーク同行、職場見学、実習）、就労後の定着支援を行います。

☎ 043 - 204 - 2385

月曜日～金曜日
(祝・休日および年末年始除く)

9:00～17:00

高齢者

⑤ 千葉市 あんしんケアセンター

高齢者のみなさんやご家族、近隣の方などの、介護に関する悩みやその他の色々な問題に対応します。

【中央区内】

☎ 東千葉 043 - 216 - 2131

☎ 中央 043 - 216 - 2121

☎ 千葉寺 043 - 208 - 1222

☎ 松ヶ丘 043 - 420 - 8325

☎ 浜野 043 - 305 - 0102

それ以外の地域は、こちらにお問合わせください。千葉市保健福祉局健康福祉部
地域包括ケア推進課

☎ 043 - 245 - 5168

仕事・仲間

⑥ ちば 地域若者サポートステーション

15歳から49歳までの現在無業の方を対象に、週20時間以上の就労を目指す支援をしています。個人面談とグループワークで就職に必要な力をつけ、職場体験などをし、就職まで継続的な支援をします。

☎ 043 - 351 - 5531

火曜日～土曜日

9:00～16:00

はち まる ご まる
8050 問題を
考える

講演会 & 個別相談会
入場無料
どなたでも
参加できます

～ひきこもりの高齢化 親亡き後を考える～



日時
2021年

9月11日(土)

9:15 ~ 受付開始
10:00 ~ 12:20 ... 講演会
12:30 ~ 14:00 ... 個別相談会

会場
千葉県文化会館 小ホール



・JR 本千葉駅より徒歩 10 分
・JR 千葉駅よりバス約 10 分
「郷土博物館・千葉県文化 会館前」下車徒歩 2 分

当日受付
OK

申し込み先・問合わせ先
電話 ... 043-445-7733
FAX ... 043-445-7785
メール ... chibachuo8050@gmail.com
お申込みフォーム ...



講演会 10:00 ~ 12:20

第 1 部 [10:00 ~ 10:50]

8050 問題
～ひきこもりの高齢化・
親亡き後を考える～

稲草大学 副学長・教授
野澤 和弘氏



講師 野澤 和弘氏

1983年毎日新聞入社。1992年に東京社会部へ。いじめ、引きこもり、障害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。社会部副部長、夕刊編集部長などを経て2009年から毎日新聞論説委員(社会保障担当)。2019年退社。

第 2 部 [10:50 ~ 11:40]

8050 問題と医療
千葉市こころの
健康センター所長・医師
稲生 英俊氏



講師 稲生 英俊氏

大阪大学大学院医学研究科博士課程修了。千葉大学医学部、木更津病院勤務を経て、2016年から千葉市保健福祉局高齢障害部こころの健康センター所長。医学博士、精神保健指定医。

親亡き後の資産管理

たすく法律事務所・弁護士
常岡 久寿雄氏

講師 常岡 久寿雄氏

2000年弁護士登録。当初より消費者問題、多重債務問題に取り組む。日弁連の貧困問題対策本部等に所属。現在はひと・くらしサポートネットちばの代表理事、千葉県弁護士会の社会福祉委員会の委員長も務める。

第 3 部 [11:50 ~ 12:20]

当事者座談会
～ひきこもり経験者が語る

これまでとこれから～

個別相談会 12:30 ~ 14:00

協力団体スタッフが直接お話を伺います。

どなたでも参加できます

入場無料

はち まる ごー まる 8050

問題を
考える

～ひきこもりからの再スタート～

日時

9月17日(土)

受付開始 12:30
 講演会 13:00～15:40
 個別相談予約会 15:50～16:20

講演内容

- 13:00～14:00 『ひきこもりからの再スタート』
- 14:10～14:40 『8050問題と医療』
- 14:40～15:00 『千葉市による8050問題への取り組み』
- 15:10～15:40 『当事者座談会』

オンライン配信あり

※オンライン配信をご希望の方は、下記の申し込みフォームからお申し込みください

会場

ホテルポートプラザちば

～ロイヤルの間～

- ◆ JR京葉線「千葉みなと駅」より徒歩1分
- ◆ 千葉都市モノレール「千葉みなと駅」より徒歩1分
- ◆ 京成電鉄「新千葉駅」より徒歩10分
- ◆ JR総武線「千葉駅」よりタクシー又はモノレールにて5分



当日受付OK

【申し込み先・問い合わせ先】

電話 043-445-7733
 FAX 043-445-7785
 Mail chibachuo8050@gmail.com
 申し込みフォームはこちら



8050問題とは、80代の高齢の親が50代の無職やひきこもり状態の子と同居し、経済的な困窮や社会的孤立に至るとい社会問題です。

入場無料
どなたでも

8050 問題と考える会 講演会

それぞれのきっかけ ～事例をもとに～

日時

2023年

9月30日(土)

受付開始 13:00～

講演会 13:30～16:20

個別相談会 16:30～16:45

会場

・千葉市役所 新庁舎2階
XL会議室(201・202・203)

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号

できるだけ公共交通機関をご利用下さい。
市役所Pは有料となります。

・オンライン配信 オンライン配信あり
(要申し込み)

申し込み先・問い合わせ先

電話 … 043-445-7733

FAX … 043-445-7785

メール … chibachuo8050@gmail.com

お申し込みフォーム …



当日申し込みOK



プログラム

挨拶 13:30～13:40

講演会

第1部 [13:40～14:40]

つながるきっかけ
～事例をもとに～

千葉市ひさこもり地域支援センター所長

平田 智子氏

第2部 [14:55～15:25]

8050問題とスティグマ
～なぜ支援を拒否するのか～

医師・千葉市こころの健康センター所長

稲生 英俊氏

第3部 [15:40～16:20]

支援者座談会
「支援のターニングポイント」

個別相談会 16:30～16:45

協力団体スタッフが直接お話を伺います。



どこに相談してもよいネットワークを構築

「千葉市80・50問題を考える会」では、

8050問題を抱える家庭が
限界の状況になる前に支援につながり、孤立せずに
暮らせる地域を目指しています。

ご清聴ありがとうございました

千葉市中央区
障害者基幹相談
支援センター

